

# フライングドクターの実情



フライングドクターの最初の基地が設立されてから約80年。フライングドクターは、今どのように社会に認識され、どのように変わってきているのでしょうか。活動に必要な運営費の調達に尽力している、WA 区域本部のマーケティング・資金調達を担当している Michelle Fraser さんが丁寧に教えてくれました。



Royal Flying Doctor Service of Australia Western Operations  
**フライングドクター WA 区域本部**  
 Director of Marketing and Fundraising  
**マーケティング・資金調達担当**  
**Michelle Fraser さん**

**Q** フライングドクターで働き始めたきっかけを教えてください。

**A** 私は、お金のためではなく、人を助ける非営利の団体で働きたいという想いを常に持っていました。また、働く前からフライングドクターの活動をTVの番組で観ていましたので、良いイメージがあり、とても興味があったので、1983年から働き始めました。

**Q** フライングドクターの現在の社会でのステータスはどのようなものですか？

**A** フライングドクターは、最近 Reader's Digest 誌で、国内で最も敬意を表すチャリティ団体の第1位に選ばれました。そのように知名度や貢献度が認められているので、オーストラリアを代表する団体の1つにも数えられています。

**Q** 活動に対して、どのような感想や意見がありますか？

**A** フライングドクターに救助された人たちから、たくさんの嬉しい感想を頂きますね。例えば、あるおじいさんから、孫を助けてくれてありがとう、と私たちに感謝の手紙を送ってくれたこともあります。私たちにあって、このような人々の声が力になっています。

**Q** フライングドクターといえば、都市部から離れた場所に住む人々へのサービス、というイメージがありますが、現在、都市部ではどの程度認識されていますか？

**A** 都市部での認識はまだ低いですね。しかし、徐々に高くなってきていると思います。なぜなら、WA州ではたくさんの人がパースなどの都市部に住みながら、定期的に内陸部の鉱山などに働きに行っていること、そして定年後に多くの人が車で内陸部や遠隔地に旅をするようになったことから、フライングドクターの存在を考える人が多くなったと思われるからです。また、フライングドクターの活動範囲が都市部付近まで広がり、マーガレットリバーなどの地域も含まれるようになったこともあり、遙か遠くで活動をしている団体、という認識も少しずつなくなってきました。

**Q** フライングドクターの活動範囲はどのくらいですか？

**A** パースから半径200km圏外です。もっと分かりやすく言えば、パースから車で2時間半くらいの位置からです。ただ、例外としてロットネスト島がありますね。

**Q** フライングドクターのサービスは有料ですか？

**A** いいえ、無料です。ただ、政府との契約で、もし交通事故や鉱山などの職場での事故があった場合、また海外旅行者の救助を行った場合で、保険会社に費用の請求ができるようならば、請求をすることが決められています。しかしその他の場合、例えば海外旅行者で旅行保険がない場合は、フライングドクターのサービスは全て無料で受けられます。全ては、創始者であるジョン・プリン師の思想である、宗教や民族などに係わらず全ての人々に医療サービスを提供することに基づいています。

**Q** 内陸部や地方の健康水準は都市部と比べてどのくらい向上していますか？

**A** 最低、月に1回は定期健康診断を行なっているため、以前と比べれば健康水準は上がっています。しかし、心臓発作などすぐに治療が必要なケースに対応できる専門の医師や設備がパースなどの都市部の病院にしかないため、そういう点から見ると、残念ながら健康水準は都市部と同じとは言えません。また、アボリジニのコミュニティの健康水準はいまだに低いのが現状です。

**Q** WA 区域本部が担当している地域では、何か独自の活動などを行っていますか？

**A** 私たちが独自に行っている活動として、キャラバンや4WDの車で地方のコミュニティに行き、各地に置いてある救急セットの器具や薬品の使い方や注射の打ち方、応急処置の方法、皮膚がんなど特定の病気の健康診断を行なうプログラムがあります。私たちは、東海岸の区域と比べ病院などの看護施設が少なく、かつ広大な面積を担当しているため、他の区域とは違うユニークな活動を行っています。

**Q** 今後、フライングドクターはどのように変わっていくと思いますか？

**A** 近年、WA 区域本部が目標としているのはジェット機を購入することです。現在のプロペラ機より早く目的地に到着し、病院まで搬送することができるからです。WA 区域のような広大な面積では、ジェット機はとても重要な役割を果たすと考えています。

**Q** 読者にメッセージをお願いします。

**A** これから個人でWA州の内陸部や遠隔地を旅行する人は、HF無線機などの信頼できる通信手段を必ず用意して欲しいですね。毎年、日本人の旅行者の方からも多くの救助要請の連絡があるので、他人事とは思わないで準備を徹底してください。また、内陸部の道路状況はパースなどの都市部とは違うので、そのような基本的な知識も予め集めておいて欲しいです。

